



カナディアンカヌーを巧みに操り、日々洞爺湖の湖上を進む納谷さん。札幌市出身ですが、母の実家が花和地区で

洞爺湖町
地域おこし協力隊

地域おこし協力隊が
出会った素敵な人紹介

カヌーで洞爺湖をガイド
洞爺トイボックス

代表 納谷 豪一さん
(曙)

牧場をしていたということもあり、物心つく前から洞爺湖を訪れ、自分の故郷のように洞爺湖が大好きになりました。

大学卒業後、札幌市で社会生活を送っていましたが、2000年噴火をきっかけに「大好きな洞爺湖のために、自分に何かできることはないか」と考え始め、「自然の方面からアプローチして大好きな洞爺湖を活性化したい」という強い思いを抱くようになりました。その後アウトドア会社で経験を積み、2011年春に洞爺地区で「洞爺トイボックス」をオープンしまし

た。店名は、「美しい湖水、火山や温泉、動植物、人など、魅力あふれる資源がたくさん詰まったこの地域を、遊び道具満載のおもちゃ箱にたとえ、洞爺湖を含むその周辺エリアの素晴らしさを伝えながら、大切にしていきたい」という思いからつけられました。お客さん一人ひとりに対し、丁寧できめ細やかなサービスを行い、年々リピーターが増加する人気のお店です。

納谷さんは、今年から洞爺まちづくり観光協会の理事に就任。1日の大半を湖に出ていることを活かし、陸上だけでは見えない湖上からの視点をもって活動しています。

「観光地としてだけではなく、レジャースポットでもある洞爺湖には、毎年多くの方が訪れます。お互いがルールを守りながら利用することで洞爺湖の風情を保ちつつ、みんなが気持ちよく楽しめ、愛されるエリアにしていきたい」とこれからの洞爺湖の姿を語ります。

(坂本篤司・宮本好)

東奔西走

今月号は、新しい編集システムを導入した最初の「広報とうや湖」です。

お気づきでしょうか？1段が31行から30行に変更となり、「こんにちは赤ちゃん」など記事のタイトルが若干以前と書体が違ってきます。本文なども「ユニバーサルデザイン書体」といって、誰にでも読みやすく、伝わりやすい書体にしました。

(H・S)

人口と世帯の動き 6月30日現在 (先月比)

男	4,260 (+ 1)
女	4,894 (+ 15)
計	9,154 (+ 16)
世帯	5,009 世帯 (+ 24)

今月のワンショット



認知症の啓発キャンペーン『RUN伴TOMO-PROW』
でふる里の丘にゴールするランナーたち